

鬼怒川温泉駅前再整備検討市民委員会 第5回会議事前送付資料の内容に係る意見・質問 一覧

(質問受付日時順)

令和7年10月14日現在

No.	質問内容	回 答
1	【想定スケジュールについて】 本年度事業、図書館の移転はすぐにでも可能と思われるが、整備設計、解体工事についてはどの程度、時間的、予算的にかかるか。また、その進捗はどのような状況であるか。	図書館については、現在、生涯学習課において解体後のあり方について検討を進めています。解体工事については総合文化会館と図書館を一体的に解体するため今年度、実施設計を発注しています。また、解体に際し、先日アスベスト含有調査のため検体採取を行いました。解体工事については令和8年度後半の着工を予定しています。
2	【整備基本計画について】 ①集会機能に会議室とあるが、現状の行政センターの設備で十分と思われる。その分民間機能の屋根付きイベント広場を充実させ、不定期に小さなコンサートができるスペースにしてはどうか？函館の例を見ると、普段はビアホールで、不定期に様々なコンサートを行っている。 ②駐車場は50台程度とあるが、熱海の例を見ると、電車の客だけでなく大型バス利用の観光客のため大型バスの駐車場も数台必要と思われる。	①整備に係る基本的な考えと合致した財源として、非常に有利な地方債を検討しておりますが、その活用条件の一つが「公共施設等の集約化・複合化」となっております。そのため、既存施設である藤原総合文化会館の集会機能を多目的利用が図れる会議室として検討したものです。また、集会機能の一つとして屋根付広場も検討しているので「コンサート等ができるスペース」については、整備後の利用方法の一つとして検討いたします。 ②基本的には、普通自動車の駐車台数確保に努め、大型バスについては検討課題といたします。
3	文化会館老朽化に伴う検討委員会が発足して、あまりに時間が経っている。今回整理された基本方針の「鬼怒川温泉に賑わいを取り戻し住民・観光客にとって双方にメリットがある再整備」は、当初から委員の皆さんが訴えてきたもので、時間はかかったが、ここに落ち着くものと期待していた。 日光市内の老朽化した公共施設で、財政に貢献できる立地条件を持つ鬼怒川温泉駅前には是非、DB0方式のもと先行投資してほしい。 最近では泊食分離の傾向が強くなっている。食事は、観光地満足度に大きな割合を占めている。温泉・商業施設・食事は勿論、若者のための機能、若者を呼べる機能を検討してほしい。	観光客や地域住民が楽しめる施設として、屋根付きイベント広場や入浴施設を検討いたします。

【以下は質問ではなく、山本アドバイザーからの助言です】

(基本方針)

5 整備手法及び整備に係る財源について

整備手法については、市職員の技術職が不足している中、迅速に整備を進めることや将来の運営の実効性を高めるために、設計から運営を含んだ一括発注（DB0 方式）を検討する

⇒必ずしも DB0 方式が全てではないので、DB0 方式を含めての検討にしてください

→DB0 方式を含め、従来方式についても検討いたします。

(基本計画策定について)

1-1 基本計画策定支援業務の内容

1. 基礎調査と前提条件の整理

⇒利用状況も調査対象にしてください

→既存施設の利用状況について調査対象いたします。

2 施設の機能・規模・建築計画の検討

最適な延床面積を算出する

⇒利用度が高まる、また注目が集まる内容であれば、ある程度の延床面積も必要と考えます

→利用度を高められる内容について、予算内で整備できるよう検討いたします。

3. 事業費の算定と財源計画

将来の維持管理・運営にかかる費用（ランニングコスト）まで含めた事業期間全体の総費用を試算する

⇒2050 年度までに達成しなければいけない省エネ対策が必要であり、特に、今後の光熱水費の上昇も考慮した計画を求めます

→近年の上昇率を参考に、将来の上昇度合いの算出等、光熱水費の上昇に考慮します。

4. 民間活力の導入も視野に入れた整備・運営方式の採用検討

⇒民間活力の導入も視野には入れて欲しいですが、前述の通り、DB0 方式を含めての検討をしてください

→民間活力の導入を視野に入れ DB0 方式を含め検討します。